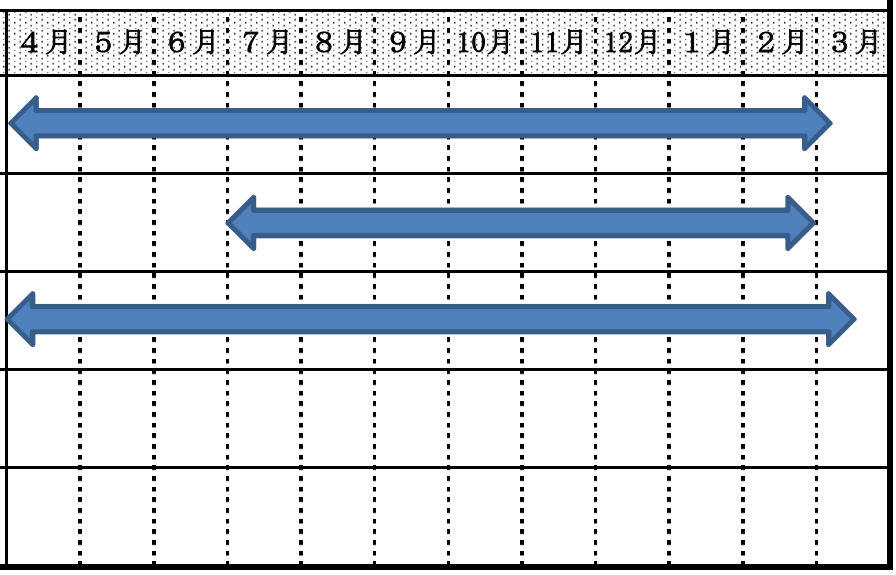
全体	№３１
個別	07-01

平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	なりわいづくり
		最優先課題	良質な対馬産品をつくる、対馬産品に高付加価値をつける
	項 目	對馬椎茸”やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業	
	内 容	【 内 容 】 『對馬椎茸”やる倍”ナバダス計画』に基づき、計画的にしいたけ振興策を図ります。 ①生産者のやる気を倍増 価格の安定化(生しいたけ安定価格買取) ②生産量を倍増 作業の効率化(生産団地・省力化機械器具導入、種駒補助制度) ③系統(全農市場)外出荷量を倍増 分業化・安定供給(量、品質、納期)に向けたルールづくり	
	指 標 (数値目標)	【 今 年 度 】 ○大型生産団地導入支援 １団地 ○しいたけ生産推進 種駒補助1,300万個 ○対馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展40回 調理方法開発・発信１式 ○生産量 乾４７．９トン 生８２．２トン 【 達 成 年 度 】 ○生産量 乾１２０トン 生２００トン	
	達成時期	平成３１年 ３月	



全体	№３２
個別	07-02

平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課　名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	良質な対馬産品をつくる
	項　　目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業	
	内　　容	【市有林整備】 市有林及び分収林の森林整備を推進します。 【Ｊ－ＶＥＲ制度関係】 市有林間伐による二酸化炭素吸収量のクレジット化と販売促進を行います。また、森林組合と協働し、私有林の整備によるクレジット発行も進めていきます。 【基金の活用】 民有林を含め、森林整備促進のための新たな財源として活用します。 また、森林づくり基本計画及び伐採ガイドラインの実行施策への財源として活用します。	
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 【市有林整備】 ①森林整備面積：16ha（利用間伐） ②路網整備：Ｌ＝3,000m 【Ｊ‐ＶＥＲ制度関係】 ①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（５回） ②クレジット販売：１００ｔ-CO2（収入金：800千円） ③新規契約件数：３件 【基金の活用】 ①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,500千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（2,500千円） 【 達 成 年 度 】 ・同　上	
	達 成 時 期	平成２９年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	①森林整備（利用間伐及び路網整備）					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
	②企業訪問、マッチングイベントへの参加	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
	③基金事業					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№３３
個別	07-03

平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課　名	農 林 ・ し い た け 課

№.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	自然の保全と持続可能な利用
	項　　目	対馬猪鹿活用促進事業	
	内　　容	対馬猪鹿活用促進事業で、要請があった地区には直接出向き、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状を、地域住民にフィードバックするため、学習会を民間事業者に委託し実施します。対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートに徹します。（行政依存体質の脱却） 被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、居住区域内安全対策、家庭菜園等防護柵と、事業メニューが多く市民の理解度が低い事から、学習会開催時に被害対策についての正確な情報提供に努めます。 また、有害鳥獣の資源活用として食肉加工品や皮革製品等に取り組み、食べて美味しい、使って楽しい等、市民が有害鳥獣対策に関わるきっかけをポジティブなイメージにするため、普及啓発活動を実施する。特に学校給食での食材利用や、市内飲食店での活用を促進し、地域食材としての食育と、担い手育成に繋げていきます。	
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 ①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区 ②地区捕獲隊増加数：5地区 ③「イノシシ・シカに関する地区学習会」開催：5地区 ④有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬の子供達）育成 学校給食食材利用校：1校 総合的学習「有害鳥獣対策」開催：1校 ⑥各種防護対策の実施 【 達 成 年 度 】 平成28年度	
	達 成 時 期	平成２９年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	地域主導の被害対策推進活動	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	地区捕獲隊普及活動	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	イノシシ・シカに関する地区学	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	有害鳥獣利活用及び人材育成	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	各種防護対策の実施	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№３４
個別	07-04

平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課　名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	①良質な対馬産品をつくる
	項　目	学校給食地場農林水産物導入事業	
	内　容	学校給食での地場農林水産物利用に係る食材供給について、特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行います。また、この事業を活用してたまねぎ・じゃがいも・にんじんを安定供給するための事業を試験的に実施します。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 安定供給体制を整備します。 地場産のたまねぎ、じゃがいも、にんじんの学校給食での使用量を目標値まで増加します。 27年度（使用割合）　28年度 ・たまねぎ　4549kg（27.4%）→ 4600kg ※既に作付終了のため ・じゃがいも　2059kg（25.1%）→ 2400kg ・にんじん　497kg（不明）→ 550kg 【達成年度】 学校給食に地場産品を使用する割合：重量比 ・米　年40回（補助限度回数） ・しいたけ　100% ・野菜 ※　30%　※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜 うち、アスパラガス　60% たまねぎ　40% じゃがいも　40% ・海藻類　年30回以上 ・魚介類　年35回以上	
	達成時期	平成３２年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
協力農家募集	↔	↔										
意見交換会				○								
貯蔵試験			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
給食への導入	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№３５
個別	07-05

平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課　名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり、なりわいづくり
		最優先課題	外から若者を招き入れる、良質な対馬産品をつくる
	項　　目	対馬の農林水産業担い手・『林業女子』育成及び『人財』発掘事業	
	内　　容	【 内 容 】 市の基幹産業である漁業、林業等において、生産者の高齢化及び後継者不足により新規の担い手確保が急務です。農林産業分野の事業者、漁協等の団体、市が一体となって新規就業のための移住相談会への参加及び合同面談会を開催し、就業意向者と事業者側のマッチングの機会及び新規参入者向けの説明会などを実施します。 〇事業検討部会及び採用者向け研修会開催 〇農林水産業職業紹介映像制作 〇移住相談会及び合同企業面談会におけるポスター、チラシ作成 〇都市部及び対馬市内における移住相談会出席及び合同企業面談会 〇林業新規正規雇用従事者の人件費及び研修費等の一部助成	
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 〇新規林業従事者５名 〇新規漁業従事者３名 計８名 【 達 成 年 度 】 〇新規林業従事者１５名 〇新規漁業従事者　９名 計２４名	
	達成時期	平成３１年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
事業検討部会及び採用者向け研修会の開催		↔		↔								↔
農林水産業職業紹介映像制作			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
移住相談会参加及び合同企業面談会開催			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	

全体	No.３６
個別	07-06

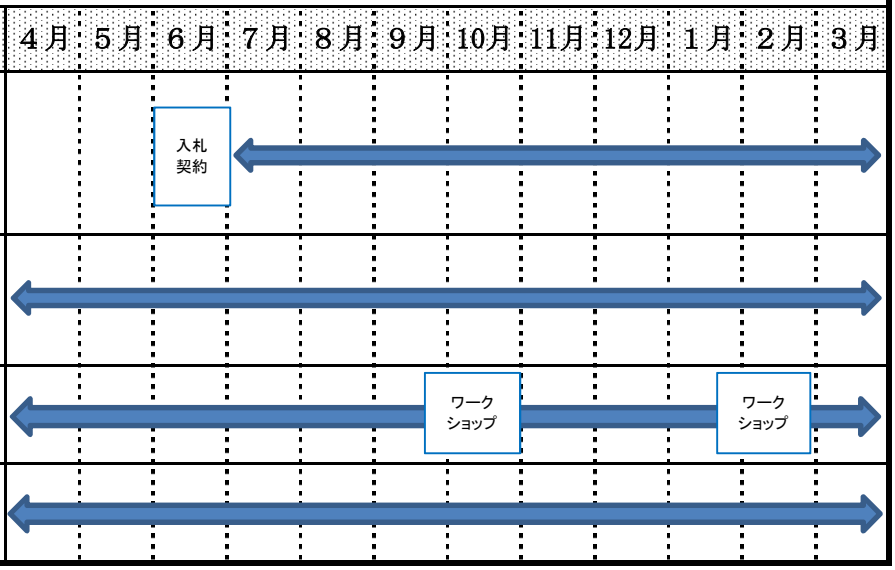
平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	ふるさとづくり
		最優先課題	自然の保全と持続的可能な利用

項 目	「海洋保護区の設定」
内 容	水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申や漁業者、関係団体等からの意見を検討して、区域設定や区域内の資源管理計画を策定し、国や県などに働きかけて対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。
指 標（数値目標）	【 今 年 度 】 ① 魚種・漁法毎の資源管理計画を作成します。 ②「(仮称)海洋保護区しまうみ運営規範」の作成に向け、情報収集・整理等を行います。 ③ 海洋保護区PR番組を放送するほか、科学委員会報告書概要版、海洋保護区リーフレットを配布します。 ④ 九州大学等外部研究機関との連携を深めます。 ⑤ 資源管理活動のデータ化を行います。
達成時期	海洋保護区設定については可能な限り早期の設定を目指します。

スケジュール



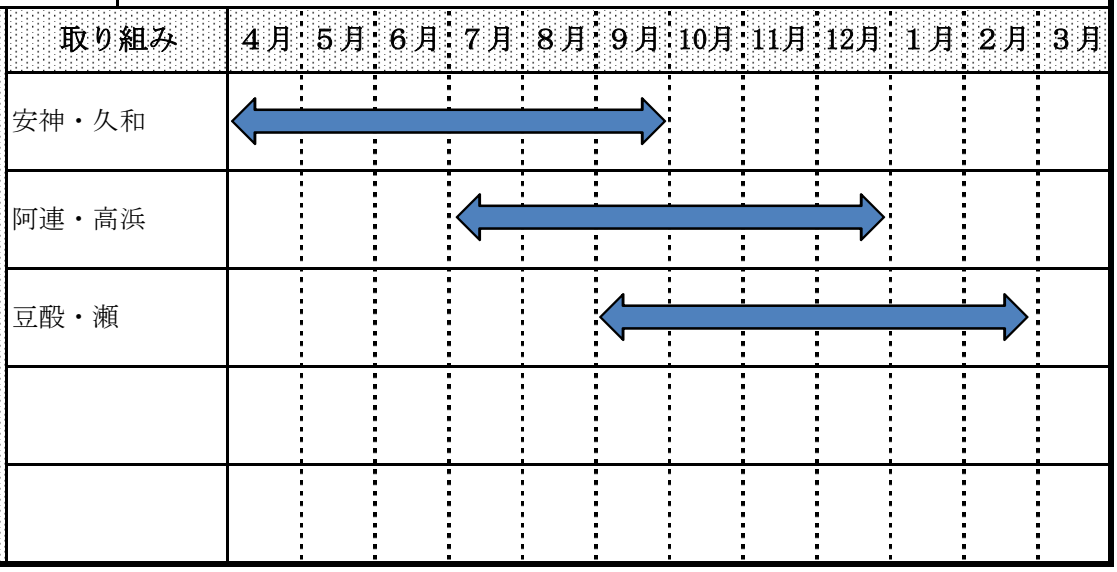
全体	№３７
個別	07-07

平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

№.	総合計画の区分	挑 戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項 目	「魚礁設置」	
	内 容	・対馬沿岸域における水産資源の低迷により、対馬市の漁業生産量は減少し続けていることから、その対策の一つとして魚礁を地先漁業権内に設置し、漁業生産量の確保を図ります。地先漁業権内に魚礁を整備することで近場の漁場が整備され、漁業者の高齢化にも配慮した環境を整えます。	
	指 標（数値目標）	【 今 年 度 】 ・魚礁9,000空㎥（安神・久和・阿連・高浜：6,000空㎥・豆酘・瀬：3,000空㎥） 【 達 成 年 度 】 全体計画［H24～28年度］：魚礁1箇所1,500空㎥*17箇所=25,500空㎥	
	達成時期	平成２９年３月	

スケジュール



全体	№３８
個別	07-08

平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

№.	総合計画の区分	挑 戦	なりわいづくり
		最優先課題	対馬産品に高付加価値をつける
	項 目	「水産物の輸送費補助」	
	内 容	・水産物を島外へ出荷する際の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋げます。	
	指 標（数値目標）	【今年度】 ・１８１万９千箱以上分に対しての支援を行い、漁業者の負担軽減を図ります。 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２９年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	補助対象期間	←											→

全体	No.３９
個別	07-09

平成２８年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	基 盤 整 備 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項 目	基盤整備工事の早期発注、早期完成	
	内 容	農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、市民生活の利便性の向上を目指すものであります。 その中で事業の早期着工は、市の経済流通の初動を促し、市民生活を活性化させると共に、早期完成は市民の生活基盤の底上げにつながるものであり、本年度においても計画的な発注を行い年内に委託業務完了100%及び工事の執行100%を目指します。	
	指 標 （数値目標）	【今 年 度】 平成28年度建設工事発注予定額 1,751百万円 平成28年度建設工事発注予定件数 委託 11件 工事 27件 平成28年度12月 委託業務完了予定額 100%目標（86百万円） 平成28年度12月 委託業務完了予定件数 委託 11件 平成28年度12月 工事執行予定額 100%目標（1,665百万円） 平成28年度12月 工事執行予定件数 工事 27件 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２８年１２月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
測量・調査・設計委託の設計書作成		←							→			
工事の設計書作成			←						→			
測量・調査・設計委託の管理及び完成			←									→
工事の施工管理及び完成					←							→